

## 平成 28 年 5 月総務企画委員会 議事概要

H28.6.6 作成

H28.6.22 修正

日 時：平成 28 年 5 月 25 日（水） 18:00～19:30

会 場：建築士会 会議室

出席者：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員長) 芝 京子

(委員) 天神 正志、伊藤 誠一、加藤 清、玉野 直美、沼田 有二、八重野 みどり

(事務局) 須藤専務理事 (オブザーバー) 金子成司川崎支部長(総会議長候補者)

### <確認事項>

#### 1 前回 (4/19) 議事録の確認【資料 1】

メーリングリストで事前送付済みの原案が承認された。

### <協議事項>

#### 1 平成 28 年通常総会議案について【資料 2】

- ・専務理事より、議案書案を説明。特段の異議なく承認。

#### 2 平成 28 年総会の進め方について【資料 3】

- ・専務理事より、進め方に関する 2 案（基本は従来どおりとし、委員長等の補足説明も想定する案、及び委員会活動報告はすべて所管の委員長から直接説明させる案）を説明。

(質疑)

(委員長) ・委員長からの直接報告も必要な気がするが。

(委員) ・すべての委員長に説明してもらおうと、審議時間が食われる懸念も事実。

(オブザーバー) ・昨年の総会は会費値上げと役員改選で時間がなかったが、今年は時間が取れそうなので可能ではないかというのが提案の趣旨。また、出席している一般会員から見て、誰が説明するのがわかりやすいのかという観点も必要。

(委員長) ・いったん委員長からの説明をルール化すると、改選のある総会でもやめるわけにはいなくなるが、大丈夫だろうか。

(オブザーバー) ・新法人に移行してから、総会の議事内容に関して一般会員が意見を出しにくくなったように感じる。その意味でも、委員会活動の実情に触れてもらう必要があるのでは。

(委員) ・このスタイルを続けていけば、説明がより簡潔になって時間的な問題は解決されると思う。

(委員) ・いずれにしても報告事項的なものは、無用の質疑を行わないといったメリハリのある議事進行を行えば、うまくいくかもしれない。

(副会長) ・事務局からの説明も一定の時間が必要だし、委員長さんの説明時間にバラツキがあるとタイムキーピングに不安が残るが。

(専務理事) ・委員長が全員出席可能ではなく、どうしても欠席というケースも出てくると思う。また、議決事項の部分で発言を求めるか、報告事項の部分でやるかによっては、質疑の発生度合や所要時間に差が出るので熟慮すべきだ。

- (委員) ・総会は初体験になるので、可否は判断しにくい。
- (委員) ・説明を求めるとすれば、報告事項の 28 年度事業計画の方ではないか。初めての試みになるので、委員長さんたちには事前にきちんと根回しした方がいい。
- (委員) ・以前の総会は、正直行ってあまり面白くなかった。変化があつていいと思う。
- ・4 分間の時間制限内でコンパクトに発言してもらうのは、当然のこと。学生のプレゼンでも時間厳守で説明できている。委員長さんたちにできないはずがない。
- (委員) ・士会総会には参加していないので不案内だが、他団体の総会の経験では、会計報告を精密に行う必要はないと感じる。委員会活動の「見える化」に資するとすれば委員長さんの説明もいいのでは。

- ・①全委員長から議決事項の事業報告時に説明を求める②4 分以内に終了できるよう議事進行に努める③本日の決定を直ちに全委員長に連絡し準備を進めてもらう、こととした。

### 3 委員会規程の理事会上程について【資料 4】

- ・専務理事より、前回委員会での方向付けに基づき、理事会上程用の総務企画委員会規程案を説明。特段の異議なく承認。

#### <報告事項>

##### 1 平成 28 年一級・木造建築士試験受験者について【資料 5】

- ・専務理事より、一級について「申込者数」では前年をわずかに上回ったが、暫定値である旨の説明。

#### <その他>

##### 1 次回の委員会について

平成 28 年 6 月 21 日(火) 18:00～。

以上